

## 第2回周南市まちづくり総合計画審議会（第2部会）会議録

- 日時 平成26年8月6日（水） 9時30分～12時
- 場所 市役所本庁舎（第1会議室）
- 出席者 ・委員 8名（敬称略・名簿順）  
大山政男・村川哲夫・齊藤由里恵（部会長）・安永 守・清水嘉子・棚田敬治・  
升崎美彦・渡辺明彦
- ・事務局（政策企画課）3名  
原田課長・有間企画担当係長・中村主査
- 議事 ・基本計画（分野別計画）について

### 会 議 議 事 録

#### 1 議 事

##### （1）基本計画（分野別計画）について

- 分野別計画の基本施策について、各担当部署が説明・質疑応答

詳細：「まちづくり総合計画審議会第2部会第2回会議（2014/08/06）発言概要」の  
とおり

##### （2）その他（次回の部会について）

- 日程等

日時：8月20日（水）9時30分～

場所：市役所本庁舎（防災対策室）

- 基本計画（分野別計画）の審議内容

- 「4-1 災害に強いまちづくりの促進」
- 「4-2 消防・救急体制の充実強化」
- 「8-1 新エネルギーの活用と低炭素社会の実現」
- 「8-2 循環型社会の実現」
- 「8-3 環境保全の推進」
- 「9-1 市政に参画できる仕組みの充実」
- 「9-2 将来を見据えた行政経営」
- 「9-3 持続可能な財政運営」
- 「9-4 公共施設老朽化への対応」

■まちづくり総合計画審議会第2部会第2回会議(2014/08/06)発言概要

<b>3- 1地域コミュニティの活性化</b>	
<b>【P.35】 ファシリテーター</b>	
ファシリテーターはどのような人がなっているか。民間の方が。	
回答	【コミュニティ推進課】 山口国体のボランティアセンターを務められた県内の民間の方3名。 現在、ファシリテーター養成講座を開催しているが、その卒業生にも参加していただきたいと考えている。
<b>【P.35】 ファシリテーター</b>	
ファシリテーター養成講座を卒業された方が、ファシリテーターになった時は有償か。	
回答	【コミュニティ推進課】 有償。ただ、ファシリテーター養成講座を卒業したからといって、いきなり実践するのは難しい。 まずはボランティアなどで参加していただき、その後、独立していただきたい。
<b>【P.35】 コーディネーター</b>	
コーディネーター役の公民館主事は市職員か。	
回答	【コミュニティ推進課】 公民館主事は、市職員(嘱託職員含む)。 公民館主事を対象にした講座には、一緒になって受講していただきたいと思っている。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
地域課題の解決に向けた活動を展開できる拠点とは、公民館のことか。	
回答	【コミュニティ推進課】 基本的には公民館のことである。地域の方と公民館主事が一緒になって地域づくりを進めていきたいと考えている。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
現在、地域づくりに関して経験の浅い公民館主事もいるが、地域づくりの中核を公民館が担うのなら、経験豊富な職員を配置していただきたい。	
回答	【コミュニティ推進課】 公民館主事には、優秀な職員を配置できるように努力していきたい。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
本当にコーディネート力に長けたコーディネーターを配置してほしい。	
回答	【コミュニティ推進課】 現在、コーディネーターの育成に努めている。
<b>【P.35】 これまでの取組み・成果</b>	
地域コミュニティの活性化に対する成果について、市民の評価が「成果」なのか。	
回答	【コミュニティ推進課】 成果を数字で表すことは難しい。ファシリテーターを派遣し、主体的な話し合いの場が地域に増えることが成果だと考えている。 【政策企画課】 市民アンケート結果を、「市民の評価」として参考までに掲載しているが、これが成果ということではない。
<b>【P.35】 これまでの取組み・成果</b>	
例えば、自治会の加入者数が増えることは成果だと思う。しかし、成果がわかりにくい。	
回答	【コミュニティ推進課】 現実的に自治会加入率を上げることは難しい。ただ、目標数値を掲げ、取り組んでいきたいと思う。

<b>【P.36】 自治会組織の充実</b>	
平成25年度以前の自治会加入率を把握しているか。現在は、その時の値より上がっているか。平成25年度現状値の79.2%を切り上げて80%という目標値を設定されたのか。	
回答	【コミュニティ推進課】 全国的にもそうだが、自治会加入率は減少傾向にあり、80%は維持していきたいという思いから設定している。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
あまり住民主体の地域づくりを強調されると「市職員は何をしているのか」と思ってしまう。訓練されていない地域は取り残されているように感じる。	
回答	【コミュニティ推進課】 行政として何が出来るかと考えた時、拠点施設である公民館に職員を配置し、地域の人と一緒に地域づくりを進めていくしかないと思う。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
公民館主事には、他の地域を参考に、今、自分たちの地域に足りていないことをアドバイスしてほしい。地域活動が活発化しているところは羨ましい。	
回答	【コミュニティ推進課】 公民館主事には、地域の方と一緒に企画を立て、一緒に地域づくりを進めてほしいと考えている。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
ベッタウンは人間関係が作りづらい。	
回答	—
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
地域コミュニティが活性化することが、市民生活にとって何のメリットがあるのかが記載されていない。地域のことを地域が決める大切さが、この文章からは読み取れない。地域づくりに関心のない人にも、地域づくりの大切さを伝えていく必要がある。	
回答	【コミュニティ推進課】 自治会や地域コミュニティに関わっていく中で、「個人的な」メリットを見つけていくのは難しい。しかし、自治会活動は人と関わり合い、助け合う中で、地域のメリットやお互いのメリットを見つけていく活動だと思う。そういったメリットを基本計画に記載することは可能だと思う。
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
全国的に自治会加入率が減少している中で、周南市は自治会組織を充実させていく方向性であれば、市民にとって自治会活動が充実することが、どんな「幸せに」つながるのかを整理して伝えていく必要がある。総合計画は市の最上位計画なので、今後、具体的な事業を展開する際、「何を目標しているのか」、「何のためにしているのか」という「視点・方向性」をしっかりと伝える必要がある。	
回答	—
<b>【P.35】 これまでの取組み・成果</b>	
地域づくり支援アドバイザー制度の活用事例は。	
回答	【コミュニティ推進課】 平成25年度は、鹿野地区、岐山地区、高瀬地区。内容は、「地域の祭りの活性化」、「地域の課題発見」など。
<b>【P.35】 これまでの取組み・成果</b>	
鹿野は耕作放棄地の対応に苦慮している。そうした課題を解決に導いてくれるアドバイザーがいれば助かる。	
回答	【コミュニティ推進課】 まず、地域の方が集まって話し合いの場をもたれることが必要ではないか。そこに公民館主事やファシリテーターが関わるので、今後の方向性が探れると思う。

<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
<p>地域の課題を地域で共有し、解決していく仕組みをつくる必要であり、それを担うのはコミュニティ推進組織や公民館。          平準化したコミュニティを目指すより、各コミュニティが独自の活動や情報共有を進める中で、コミュニティの未来像が見えてくると思う。          そういったことに触れていただくと、「コミュニティ推進組織」の意味が、少しは市民にも見えてくると思う。</p>	
回答	<p>【コミュニティ推進課】          ふるさと振興財団が、各地区コミュニティの情報をホームページで発信している。また市内のコミュニティ推進組織の交流会も開催している。これからもそうした部分を伸ばしていきたい。</p>
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
<p>現実的に、地域によって中核となる人材にバラつきがある。行政はもっと地域と一緒にやって取り組むことや、中核となる人材の育成に努めていただきたい。</p>	
回答	<p>【コミュニティ推進課】          公民館主事に限らず、市職員を対象に「地域づくり」に関する研修を積み上げている。市職員にしろ、地域の方にしろ、「人づくり」は難しい問題もあるが、取り組んでいきたい。</p>
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
<p>自治会加入は強制ではないのか。自治会に加入しない人や加入していても活動に参加しない人もおり、まじめに自治会に関わっている人が不利なような感じがする。地域活動に関わることが、どんな「幸せ」につながるのかが分からないと自治会加入にもつながらない。</p>	
回答	<p>【コミュニティ推進課】          自治会への加入は任意。昔と違い、自治会に加入しなくても普通に生活できる。宅建協会や自治会連合会と協働した取り組みも検討しているが、強制加入が出来ない以上、自治会による草の根的な個別の勧誘活動に取り組んでいただいている。</p>
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
<p>例えば、農村地帯に新築やアパートが建築された場合、その住民は農道や農業用水路など、どこまで自治会清掃に関わればいいのか色々問題がある。今後は自治会自体のあり方を検討していく必要がある。</p>	
回答	—
<b>【P.36】 住民主体の地域づくりの推進</b>	
<p>地域活性化に反対する人はいないと思う。しかし、その重要性を説明できる人は少ない。          災害時をはじめ、色々な場面で、重要な組織だと認識されると思うので、そういったことを総合計画の中にも盛り込んでいただきたい。          「頑張る地域」や「頑張りたい地域」には、しっかりと支援し、「やらない地域」には地域づくりの重要性を伝えていく必要がある。</p>	
回答	—
<b>3-2 中山間地域の「地域づくり」の促進</b>	
<b>【P.38】 これまでの取組み・成果</b>	
<p>周南市の空き家率を把握しているか。</p>	
回答	<p>【中山間地域振興課】          地域自らが空き家対策に取り組んでいるエリアの「人が住める空き家」については、ある程度把握しているが、「人が住めない空き家」については、把握していない。</p>
<b>【P.38】 これまでの取組み・成果</b>	
<p>倒壊の危険がある空き家については、対策が必要ではないか。</p>	
回答	<p>【政策企画課】          倒壊の危険がある空き家については、後ほど、生活安全課から説明する。</p>

<b>【P.38】 基本方向</b>	
周南市としては、いわゆるコンパクトシティを目指すのではなく、中山間地域を存続させ、その上で、安心して暮らしていける地域を創っていくということによろしいか。 また、安心して暮らしていくために必要なものを市が指定するのではなく、夢プランを策定する中で地域が選んでいくことになるのか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> 地域によって抱える課題は様々であり、まず、地域で課題解決に向けて考えていただき、それに対して市は人的支援やハード整備への支援に取り組んでいく。
<b>【P.38】 基本方向</b>	
安心して暮らし続けられるということは、それぞれの地域によって違う。市が必要な施設・機能を決めるのではないということか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> そのとおり。ただし、一つの方向として、小学校区単位で身近な暮らしを自ら守れる地域をつくっていききたい。 また、新しい交通システムを含めた、一定の生活サービスを享受できる生活圏も創っていききたい。
<b>【P.39】 推進施策の展開(地域の夢プランづくりの促進)</b>	
夢プランの策定団体数は、小学校区を1団体として数えているのか。 小学校区はいくつあるのか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> そのとおり。ただし、鹿野地区のようにエリアが広く、意識共有が図れない場合は、「旧小学校区」のように、もう少し小さいエリアで夢プランづくりを進めている地域もある。
<b>【P.39】 推進施策の展開(地域の夢プランづくりの促進)</b>	
夢プランの策定数が、平成31年度14団体となっているが、何団体のうちの14団体なのか。 中山間地域の11地区を網羅している目標値なのか。 つまり平成31年度には各地区に一つ以上の夢プランが策定されていることを目指しているのか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> エリアが広い地域は、一つの小学校であっても、分割されたエリアで夢プランを策定することも考えられるので、想定するのが難しい。 目標としては、各地区一つ以上の夢プランが策定されることが望ましい。 夢プラン策定には、最低3年はかかる。毎年、1地区ずつ夢プランが策定していきたい。
<b>【P.39】 推進施策の展開(地域の夢プランづくりの促進)</b>	
夢プランの策定には、地域づくりアドバイザーなどは関わっているのか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> 専門機関や学校関係者をはじめ、多くの方が関わって夢プランづくりは進んでいる。 コミュニティ推進課が説明した地域づくりアドバイザーにも、必要に応じて参加していただいている。
<b>【P.39】 これまでの取組み・成果(地域の夢プランづくりの促進)</b>	
別添資料にある「多様なツーリズムを通じて好循環を創る」とあるが、具体案はあるのか。	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> 民泊を活用した修学旅行の誘致や農業体験、特産品づくり、景観を使った交流など特色ある取り組みを考えている。 <b>【政策企画課】</b> ツーリズムは、「都市農山漁村の交流の推進」に、観光の中に一つの位置付けとして掲載している。

<b>【P.39】 推進施策の展開(地域の夢プランの実践活動の促進)</b>	
夢プラン策定後に作られた地域の拠点施設の運営は、指定管理となるのか？ 指定管理であれば、地元で管理できなくなった時は、地域外から指定管理者を受け入れることもできる。	
回答	【中山間地域振興課】 自由度の高い施設となっているので、基本的には地元で管理をお願いしたい。 加工所など市からの補助金を受け、地元が建設している施設については、市からの指定管理ではなく、自らが運営していただくことになる。 一方、大道理のように、元々は公民館であり、主事もいた施設は、指定管理として地元で管理をお願いすることになる。
<b>【P.39】 推進施策の展開(地域の夢プランの実践活動の促進)</b>	
夢プランに沿って、今後、新しい施設を市が建設した際は、指定管理とする考えがあるか。	
回答	【中山間地域振興課】 基本的に一つの地域に拠点施設は一つと考えている。それ以外の施設を市が建設し、運営していくことは想定していない。
<b>【P.38】 基本方向</b>	
中山間地域振興課のように、ハード整備も含めた施策を展開する部署がある一方で、行政改革推進室のように公共施設再配置を進めていく部署もあるが、最終的にどこが調整を図るのか。	
回答	【政策企画課】 全く新しい施設をどんどん建設していくものではない。現在、ある施設を有効活用し、公共施設再配置計画とも整合性を図っていききたい。 また、総合計画を基に、各個別計画や関係各部署との整合性は図っていききたい。
<b>【P.38】 基本方向</b>	
図式や模式などを使い、各分野の関係性がわかるような表記にしていきたい。	
回答	【政策企画課】 最終段階で、もう少しわかりやすくなるような工夫をしていきたい。
<b>【P.38】 これまでの取組み・成果</b>	
新市建設計画にあった「ファンタジアファーム構想」は、どうなったのか。	
回答	【政策企画課】 国の補助事業ということもあり、豊鹿里パークの利用率の低さについて指摘を受けている。今後はソフト事業の充実により、豊鹿里パークの利用率の向上を図り、必要に応じて「ファンタジアファーム」といったハード整備も検討していくことになる。 新市建設計画にある「ファンタジアファーム構想」が消えているわけではない。
<b>【P.38】 これまでの取組み・成果</b>	
「ファンタジアファーム構想」が残っているなら、そのエッセンスを残してほしい。	
回答	【政策企画課】 言葉自体は記載されていないが、観光・ツーリズムを含めた何らかの表現ができないか、所管課で検討させていただく。
<b>【P.39】 推進施策の展開(UJIターンの促進)</b>	
UJIターンに関する周南市の目玉の取組みは。	
回答	【中山間地域振興課】 UJIターンに関する定住奨励金などの補助は一切していない。 里の案内人制度という、地域の方に移住に関する相談やサポートをしていただく仕組みがある。 地域として、移住者を受け入れる体制をつくるが大変重要だと考える。 次のステップとして、周南市への移住を動機付ける施策を考えていきたい。

<b>【P.38】 これまでの取組み・成果</b>	
大津島は中山間地域という位置付けか。 大津島に関わった地域おこし隊員の成果は。(これまでの取組み・成果に触れていなかったので質問した。)	
回答	<b>【中山間地域振興課】</b> 大津島は離島振興法における「離島」に該当し、定義上、中山間地域に属するものである。 3人いた島おこし隊員の内2人は、任期が終わった後も大津島に残り、行政の嘱託職員と「海の郷」の指定管理者として地域づくりに貢献している。
<b>3-3 市民活動の促進</b>	
<b>【P.42】 主要事業(市民活動保険制度の整備)</b>	
地域活動に適用できる「自賠責保険」を検討していただきたい。	
回答	<b>【コミュニティ推進課】</b> 現在、市は「市民活動賠償責任保険」に加入しており、その他に、社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」や民間の保険を紹介させていただいている。 自身のケガなどについては、そういった保険を活用していただきたい。
<b>【P.42】 主要事業(市民活動保険制度の整備)</b>	
市は保険をやらないのか。 もう少し保険制度を充実していただくと助かる。	
回答	<b>【コミュニティ推進課】</b> 他に、市が加入している保険として、自治会清掃などに対応できる「市民総合災害賠償保険」がある。
<b>【一】</b>	
市民活動を推進する上で、やる気のあるグループの障壁となっている点を改善していくことも必要になってくる。	
回答	<b>【コミュニティ推進課】</b> 市民活動グループからの相談について、解決に向けた満足度の高い対応をしていきたい。
<b>4-3 市民生活の安全性の向上</b>	
<b>【P.52】 推進施策の展開(防犯運動・交通安全運動の推進)</b>	
「犯罪発生件数」や「交通事故発生件数」の目標値は「0」ではないのか。	
回答	<b>【政策企画課】</b> 目標値については、確かに「0」が一番望ましいが、現実的に考えて達成可能な目標値を各部署が設定している。
<b>【P.51】 これまでの取組み・成果</b>	
防犯灯の整備等に対する補助金を2,000万円に倍増しているが、犯罪抑制に対する効果は。	
回答	<b>【生活安全課】</b> 防犯灯設置による直接的な抑制効果を計ることは難しいが、危険箇所や不安箇所など自治会が望む場所に防犯灯を設置することによって効果が上がっていると思われる。
<b>【P.51】 これまでの取組み・成果</b>	
防犯灯は新設より、LED防犯灯への切り替えが多いのか。	
回答	<b>【委員】</b> 蛍光灯の防犯灯からLED防犯灯への切り替えも新設として届け出ている。LED防犯灯は非常に明るく、防犯対策に役立っている。 <b>【生活安全課】</b> 補助が一つの自治会に集中しないよう、市全体のバランスを取りながら切り替えを進めていただいている。

<b>【P.53】 主要事業</b>	
防犯に関するソフト事業が入っていないが。	
回 答	<b>【生活安全課】</b> 防犯については、防犯パトロールなど各地域で積極的に活動されている。 市として特に力を入れないというわけではなく、現在、進めている取り組みを更に進めていく。
<b>【P.52】 推進施策の展開(防犯運動・交通安全運動の推進)</b>	
見守り隊のベストを購入してほしい。	
回 答	—
<b>【P.52】 推進施策の展開(防犯運動・交通安全運動の推進)</b>	
前回の審議会でも指摘があったが、推進施策の展開や主要事業に掲載されていない分野には、力を入れないような印象を与えている点について、どのように対応するか。	
回 答	<b>【政策企画課】</b> 市の業務は多岐に渡り、総合計画に記載されていない多様な通常業務を行っているが、その中でも、総合計画にある項目は今後10年間で特に取り組んでいく項目である。それをどのように表現するかは大変難しい問題であり、出来れば読み取っていただきたい。
<b>【P.52】 推進施策の展開(防犯運動・交通安全運動の推進)</b>	
ほとんどの市民は、総合計画に書いてあることのみを目にするので誤解する可能性は高い。 防犯パトロールについては、現在、ある程度の水準に達しているので、それを継続するということによろしいか。	
回 答	<b>【生活安全課】</b> 担当課としては、そのように判断している。 この分野は、関係組織・団体との連携や啓発活動を通して、今の水準を維持、さらには高めていくという業務になっている。
<b>【P.51】 現状と課題</b>	
非常に危険な空き家もあり、それが小学校の通学路にある場合もある。 周南市の空き家率を把握しているか。	
回 答	<b>【生活安全課】</b> 全国の空き家率は約13.5%、山口県は約16%であり、周南市もそれに近い数字である。昨年10月に空き家条例を策定し、色々と試行錯誤しながら検討している。空き家対策については力を入れて取り組んでいきたい。